平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名　SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9478　URL　http://www.sehi.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 速水　浩二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　経営企画部部長　(氏名) 松村　真一　TEL 03-5362-3700

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,349	△2.9	43	△0.9	1	―	△408	―
24年3月期第2四半期	3,449	△7.2	43	△36.3	△12	―	△4	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△478百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△185百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△25.70	―
24年3月期第2四半期	△0.31	―

(注)　当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。このため1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,598	3,653	32.7
24年3月期	10,174	4,151	35.1

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　3,136百万円　24年3月期　3,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	200.00	200.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。平成24年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	2.2	100	△58.4	0	―	△409	―	△25.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	18,636,800 株	24年3月期	18,636,800 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,641,700 株	24年3月期	2,767,700 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	15,889,637 株	24年3月期2Q	15,869,100 株

(注) 当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・ 当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。このため1株当たり当期純利益は、当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

○添付資料の目次

１.当四半期決算に関する定性的情報 ……P. ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P. ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P. ２
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P. ２
２.サマリー情報（その他）に関する事項 ……P. ３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. ３
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. ３
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. ３
３.継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……P. ３
４.四半期連結財務諸表 ……P. ４
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. ４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. ６
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……P. ８
（４）継続企業の前提に関する注記 ……P. 10
（５）セグメント情報等 ……P. 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P. 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要顕在化などにより緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州債務危機問題の継続や中国経済成長の鈍化など海外経済の減速懸念により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当第２四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高3,349百万円（前年同期比2.9％減）、営業利益43百万円（前年同期比0.9％減）、経常利益１百万円（前年同期は経常損失12百万円）、四半期純損失408百万円（前年同期比403百万円損失増）となりました。

期中に不採算事業や損失リスクの大きな資産の整理を進めて成長の見込める事業への先行投資を加速するため、店舗撤退損失234百万円、のれん償却額165百万円及びプロジェクト整理損失48百万円を特別損失として計上しております。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、オンライン経由や法人向直接書籍販売が好調に推移しました。新刊納品の適正化を進めたことにより返品率は低下したものの、取次向け売上の減少により、売上高は1,227百万円（前年同期比4.5％減）、セグメント利益（営業利益）134百万円（前年同期比17.0％減）となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、主要クライアントの次期新製品発売を控えて第３四半期会計期間に売上が繰延べになった影響などで売上高は388百万円（前年同期比3.0％減）となりました。一方、原価管理強化などによりセグメント利益（営業利益）は、52百万円（前年同期比153.5％増）と大幅増益になりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、スマートフォン及びソーシャルゲーム関連の開発受注が引き続き好調に推移したものの、スマートフォンコンテンツなどへの積極的な先行投資の影響により、売上高は513百万円（前年同期比9.5％減）、セグメント損失（営業損失）は８百万円（前年同期はセグメント利益57百万円）となりました。

インターネットカフェ事業におきましては、新小岩店の被災による一時休業やロンドンオリンピック開催による夏季需要の低迷などの影響により売上高は751百万円（前年同期比3.4％減）となりました。損益面では、売上減少や第１四半期会計期間における新店開店費用などの影響によりセグメント損失（営業損失）28百万円（前年同期比損失22百万円増）となりましたが、抜本的なリストラ策実施により第２四半期会計期間後半から月次利益計上に転じております。

教育・人材事業におきましては、比較的利益率の高い法人向けサーバ売上やクラウドサービス売上の積極的な積上げ及び研修事業収益増加などから、売上高440百万円（前年同期比8.7％増）、セグメント利益（営業利益）２百万円（前年同期はセグメント損失45百万円）と大幅増収増益となりました。

その他の事業（注）におきましては、売上高27百万円（前年同期比133.3％増）、セグメント利益（営業利益）13百万円（前年同期はセグメント損失16百万円）となりました。

（注）当第２四半期累計期間及び前第２四半期累計期間における「その他の事業」には、有価証券投資事業の業績を含んでおります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金396百万円減少、のれん183百万円減少を主因に、前連結会計年度末比575百万円減の9,598百万円となりました。負債については、買掛金８百万円増加及び有利子負債161百万円減少を主因に、前連結会計年度末比77百万円減の5,944百万円となりました。純資産については、利益剰余金440百万円減少及び少数株主持分61百万円減少を主因に、前連結会計年度末比498百万円減の3,653百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、2,785百万円と前連結会計年度末比44百万円の増加（前年同期は72百万円の減少）となりました。

営業活動の結果得られた資金は339百万円（前年同期は29百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少396百万円及び店舗撤退損失234百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失440百万円及びたな卸資産の増加167百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は103百万円（前年同期は59百万円の取得）となりました。収入の主な内訳は、敷金及び保証金の回収による収入11百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出67百万円及び定期預金の預入による支出20百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は189百万円（前年同期比98.4％増）となりました。収入の主な内訳は、社債の発行による収入368百万円及び長期借入による収入270百万円であり、支出の主な内訳は、社債の償還による支出512百万円及び長期借入金の返済による支出304百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期通期の連結業績予想は、平成24年10月24日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,888	2,953
受取手形及び売掛金	1,722	1,326
有価証券	20	20
営業投資有価証券	444	462
商品及び製品	986	1,013
仕掛品	82	223
原材料及び貯蔵品	15	15
繰延税金資産	94	77
その他	132	125
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	6,386	6,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,792	1,686
減価償却累計額	△764	△808
建物及び構築物（純額）	1,027	878
土地	1,089	1,089
その他	976	985
減価償却累計額	△890	△901
その他（純額）	86	83
有形固定資産合計	2,204	2,051
無形固定資産		
のれん	424	241
その他	74	52
無形固定資産合計	499	294
投資その他の資産		
投資有価証券	221	187
敷金及び保証金	509	506
繰延税金資産	190	198
その他	169	186
貸倒引当金	△7	△42
投資その他の資産合計	1,083	1,036
固定資産合計	3,787	3,382
資産合計	10,174	9,598

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	438	447
1年内償還予定の社債	744	720
短期借入金	849	695
未払法人税等	25	25
賞与引当金	48	50
返品調整引当金	172	142
その他	444	542
流動負債合計	2,721	2,623
固定負債		
社債	2,142	2,034
長期借入金	829	954
退職給付引当金	208	218
役員退職慰労引当金	73	73
資産除去債務	30	23
再評価に係る繰延税金負債	8	8
その他	7	9
固定負債合計	3,300	3,321
負債合計	6,022	5,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,406	1,406
資本剰余金	1,902	1,886
利益剰余金	900	459
自己株式	△642	△613
株主資本合計	3,566	3,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9	△19
土地再評価差額金	15	15
その他の包括利益累計額合計	5	△3
新株予約権	7	6
少数株主持分	572	511
純資産合計	4,151	3,653
負債純資産合計	10,174	9,598

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	3,449	3,349
売上原価	2,338	2,234
売上総利益	1,111	1,115
返品調整引当金戻入額	5	29
差引売上総利益	1,117	1,144
販売費及び一般管理費	1,073	1,101
営業利益	43	43
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	10	0
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	－	3
その他	6	6
営業外収益合計	19	11
営業外費用		
支払利息	33	27
社債発行費	22	11
持分法による投資損失	1	－
支払保証料	9	10
その他	8	3
営業外費用合計	75	53
経常利益又は経常損失（△）	△12	1
特別利益		
固定資産売却益	0	0
持分変動利益	0	－
保険差益	－	8
新株予約権戻入益	－	1
特別利益合計	0	9
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	－	2
店舗撤退損失	－	234
のれん償却額	－	165
プロジェクト整理損失	－	48
特別損失合計	0	452
税金等調整前四半期純損失（△）	△12	△440
法人税、住民税及び事業税	4	16
法人税等調整額	21	12
法人税等合計	26	28
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△39	△469
少数株主損失（△）	△34	△61
四半期純損失（△）	△4	△408

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△39	△469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145	△9
その他の包括利益合計	△145	△9
四半期包括利益	△185	△478
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△150	△417
少数株主に係る四半期包括利益	△34	△61

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△12	△440
減価償却費	110	96
長期前払費用償却額	10	10
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損益（△は益）	－	2
投資有価証券売却損益（△は益）	△10	△0
のれん償却額	17	183
負ののれん償却額	△0	△0
社債発行費	22	11
保険差益	－	△8
新株予約権戻入益	－	△1
店舗撤退損失	－	234
プロジェクト整理損失	－	48
持分法による投資損益（△は益）	1	△3
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	6	9
賞与引当金の増減額（△は減少）	4	1
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△5	△29
受取利息及び受取配当金	△2	△0
支払利息	33	27
為替差損益（△は益）	4	△0
売上債権の増減額（△は増加）	237	396
たな卸資産の増減額（△は増加）	△145	△167
仕入債務の増減額（△は減少）	69	8
営業投資有価証券の増減額（△は増加）	△299	△28
未払消費税等の増減額（△は減少）	3	△18
未収消費税等の増減額（△は増加）	2	－
その他	△34	13
小計	14	344
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△31	△28
法人税等の支払額	△27	△15
法人税等の還付額	11	23
補償金の受取額	1	－
保険金の受取額	－	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	△29	339

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△20
定期預金の払戻による収入	125	－
有形固定資産の取得による支出	△40	△67
有形固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△31	－
投資有価証券の売却による収入	32	0
無形固定資産の取得による支出	△4	△5
貸付けによる支出	－	△5
長期前払費用の取得による支出	△6	△8
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△9
敷金及び保証金の回収による収入	3	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	59	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△484	8
長期借入れによる収入	200	270
長期借入金の返済による支出	△166	△304
社債の発行による収入	847	368
社債の償還による支出	△444	△512
リース債務の返済による支出	△0	△1
新株予約権行使による収入	0	12
配当金の支払額	△47	△31
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95	△189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△72	44
現金及び現金同等物の期首残高	2,964	2,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,891	2,785

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	出版	コーポレートサービス	ソフトウェア・ネットワーク	インターネットカフェ	教育・人材	計				
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	1,285	400	567	778	405	3,437	11	3,449	—	3,449
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	17	0	52	—	8	79	—	79	△79	—
計	1,303	401	619	778	414	3,517	11	3,528	△79	3,449
セグメント利益又はセグメント損失(△)	162	20	57	△6	△45	189	△16	173	△129	43

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

２　セグメント利益又はセグメント損失の調整額△129百万円には、セグメント間の内部取引又は振替高消去20百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△150百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

３　セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	出版	コーポレートサービス	ソフトウェア・ネットワーク	インターネットカフェ	教育・人材	計				
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	1,227	388	513	751	440	3,322	27	3,349	—	3,349
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	18	0	54	—	5	79	—	79	△79	—
計	1,246	389	567	751	446	3,401	27	3,429	△79	3,349
セグメント利益又はセグメント損失(△)	134	52	△8	△28	2	153	13	166	△123	43

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

２　セグメント利益又はセグメント損失の調整額△123百万円には、セグメント間の内部取引又は振替高消去22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△145百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

３　セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

①「インターネットカフェ」セグメントにおいて、複数の不採算店舗を閉鎖・譲渡予定であることから、当第２四半期連結会計期間において当該店舗固定資産について減損損失を特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては159百万円であります。

②「ソフトウェア・ネットワーク」セグメントにおいて、不採算事業（LED（発光ダイオード）事業会社LuxTek社への投資）の整理の一環として、当第２四半期連結会計期間において建設仮勘定の減損損失を特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては13百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「インターネットカフェ」セグメントにおいて、複数の不採算店舗を閉鎖・譲渡予定であることから、当第２四半期連結会計期間において店舗撤退損失（上記減損損失159百万円を含む。）234百万円を特別損失として計上した結果、同事業を営む連結子会社に対するのれんの効果が消滅したため、のれん償却を特別損失として計上しております。なお、当該のれん償却計上額は、当第２四半期連結累計期間においては165百万円であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第２四半期連結累計期間の各セグメント利益に及ぼす影響額は軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。